岡三アセットマネジメント

情報提供用資料

ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）の運用状況

ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）

追加型投信／国内／株式

2020年2月13日

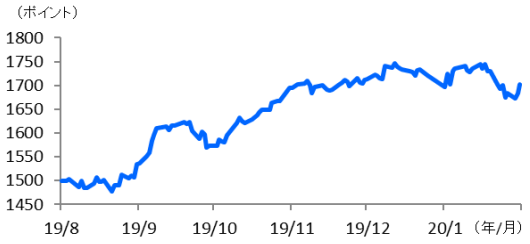
★ **当ファンドは、2月５日に第10期の決算を迎えました。**

★ **本レポートでは、第10期（2019年8月6日～2020年2月5日）の投資環境や運用状況、ならびに、今後の運用方針等についてご報告いたします。**

１．第10期の国内株式市場の動向

第10期の国内株式市場は、米中貿易摩擦に対する先行き不透明感の強まりなどを背景に、期初から2019年8月下旬にかけてもみ合う展開となりました。しかしその後は、米中通商協議の早期妥結への期待が高まったことから国内株式市場は切り返す展開となり、エレクトロニクス関連株など景気敏感銘柄に牽引され上昇基調で推移しました。期末にかけては、中国で発生した新型肺炎の感染拡大に対する懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、軟調に推移しました（図表1）。

（図表1）TOPIX（東証株価指数）の推移



（期間）2019年8月6日～2020年2月5日、日次

（出所）Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

２．第10期の運用状況

①利益成長ポテンシャルに着目した銘柄選別

第10期の当ファンドの運用につきましては、中長期的な利益成長性や株価指標に着目して銘柄を選別しました。具体的には、出店政策の見直しを背景に業績が底打ち反転すると考えられた鳥貴族や、新規公開株の中から、医療ビッグデータを活用した独自のビジネスモデルにより、自律的な成長が期待されたJMDCなどを買い付けました。一方、経営陣による株式買収（MBO）が発表された豆蔵ホールディングスや創業経営者の退任により企業の個性が低下すると考えられたZOZOなどを売却しました（図表2）。

当ファンドでは、第10期末に1万口当たり100円（税引前）の収益分配を行いました。基準価額の変動要因では、オプティム、レノバ、ギグワークスなどが基準価額にプラスに寄与した一方、じげん、ティーケーピー、リックソフトなどが基準価額にマイナスに影響しました（図表3）。

（図表2）主な売買銘柄

買付銘柄	売却銘柄
鳥貴族	豆蔵ホールディングス
ＪＭＤＣ	アルヒ
GA technologies	ZOZO

（期間）2019年8月6日～2020年2月5日

（図表3）基準価額に寄与した主な銘柄

プラス寄与	マイナス影響
オプティム	じげん
レノバ	ティーケーピー
ギグワークス	リックソフト

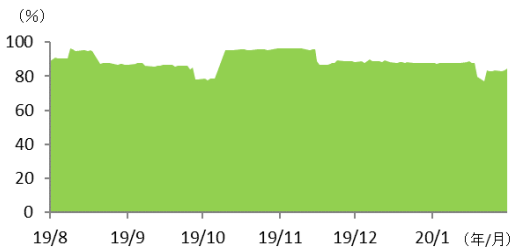
（期間）2019年8月6日～2020年2月5日

※上記で紹介した銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません

②期末にかけて実質株式組入比率を80%台で調整

株式組入比率につきましては、相場動向に対応して機動的にコントロールしました。期末にかけては、相場の上値の重さが意識されたため、株価指数先物取引の売建てにより実質株式組入比率を80％台で調整しました（図表4）。

（図表4）当ファンドの実質組入比率の推移



（期間）2019年8月6日～2020年2月5日、日次

３．今後の投資環境見通しと運用方針

今後の国内株式市場は、新型肺炎感染拡大への警戒感から短期的に不安定な相場展開が想定されます。ただ、欧米の中央銀行による緩和的な金融政策や、日銀の上場投資信託（ETF）買入れなどが支援材料となり、下値も限定的になると考えられます。中期的には、景気と企業業績の循環的な回復への期待が、株式市場の上昇トレンドを支える構図に変化はないと考えられます。そのため、世界的な新型肺炎感染防止への取組みが奏功して投資家の懸念が後退するにつれ、株式市場は、徐々に回復局面に移行していくと予想されます。

当ファンドの運用につきましては、今後も利益成長ポテンシャルに着目して銘柄の選定を行ってまいります。また、投資環境や市況動向に対応して株式組入比率を機動的に変更することにより、パフォーマンスの向上に努めてまいります。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）
追加型投信／国内／株式

運用状況　（作成基準日：2020年2月5日）

設定来の基準価額の推移

※　基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※　設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
※　分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金（税引前）を当該分配金（税引前）が支払われた決算日の基準価額で再投資したものとして計算した基準価額です。
※　グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドの状況

基準価額	10,437円
純資産総額	2,748,683,249円
実質株式組入比率	84.7%
うち国内株式	93.2%
うち先物	-8.5%
組入銘柄数	76銘柄

分配金実績

設定来累計	2,900円

※　分配金は1万口当たり（税引前）です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	情報・通信業	34.3 %
2	サービス業	20.2 %
3	小売業	9.4 %
4	不動産業	9.4 %
5	卸売業	5.8 %
6	医薬品	3.6 %
7	電気・ガス業	2.2 %
8	機械	1.5 %
9	建設業	1.4 %
10	その他製品	1.3 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄ｺｰﾄﾞ	銘柄名	構成比
1	3694	オプティム	3.2 %
2	3479	ティーケーピー	3.2 %
3	4587	ペプチドリーム	3.1 %
4	3276	日本管理センター	3.0 %
5	4384	ラクスル	2.7 %
6	2375	ギグワークス	2.7 %
7	3179	シュッピン	2.4 %
8	3696	セレス	2.2 %
9	9519	レノバ	2.2 %
10	3661	エムアップ	2.1 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	0.0 %
東証1部中型株	5.3 %
東証1部小型株	52.3 %
東証2部	5.0 %
ジャスダック	0.7 %
東証マザーズ	29.9 %
その他市場	0.0 %

※　業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
※　市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）　ファンドの特色

- 日本の成長が期待される企業の株式※ へ投資を行います。
  ※日本の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。

（作成：運用本部）

<本資料に関してご留意いただきたい事項>
■本資料は、「ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いします。

ニッポン成長株オープン（愛称　一等星）に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社
岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

■ 投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
■ ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

■ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
■ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
●詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞
■ 購入時
　購入時手数料　：購入価額×購入口数×上限3.30% (税抜3.0%)
　　詳しくは販売会社にご確認ください。
■ 換金時
　換 金 手 数 料　：ありません。
　信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞
■ 保有期間中
　運用管理費用（信託報酬）
　　：純資産総額×年率1.694%（税抜1.54%）
■ その他費用・手数料
　監査費用　　：純資産総額×年率0.011% (税抜0.01%)
■ 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
●詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
（金融商品取引業者）					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
藍澤證券株式会社	関東財務局長（金商）第6号	○	○		
臼木証券株式会社	関東財務局長（金商）第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長（金商）第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長（金商）第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長（金商）第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長（金商）第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長（金商）第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長（金商）第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長（金商）第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長（金商）第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長（金商）第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長（金商）第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長（金商）第125号	○			
南都まほろば証券株式会社	近畿財務局長（金商）第25号	○			
西村証券株式会社	近畿財務局長（金商）第26号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長（金商）第29号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長（金商）第12号	○		○	
リーディング証券株式会社	関東財務局長（金商）第78号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>
フリーダイヤル　**0120-048-214**　（9:00～17:00　土・日・祝祭日・当社休業日を除く）